

地域包括ケア「見える化」システムを活用した
富良野市介護保険事業の地域分析

富良野市

令和6年 10 月

この分析は、厚生労働省提供の地域包括ケア「見える化」システムデータを利用した分析です。

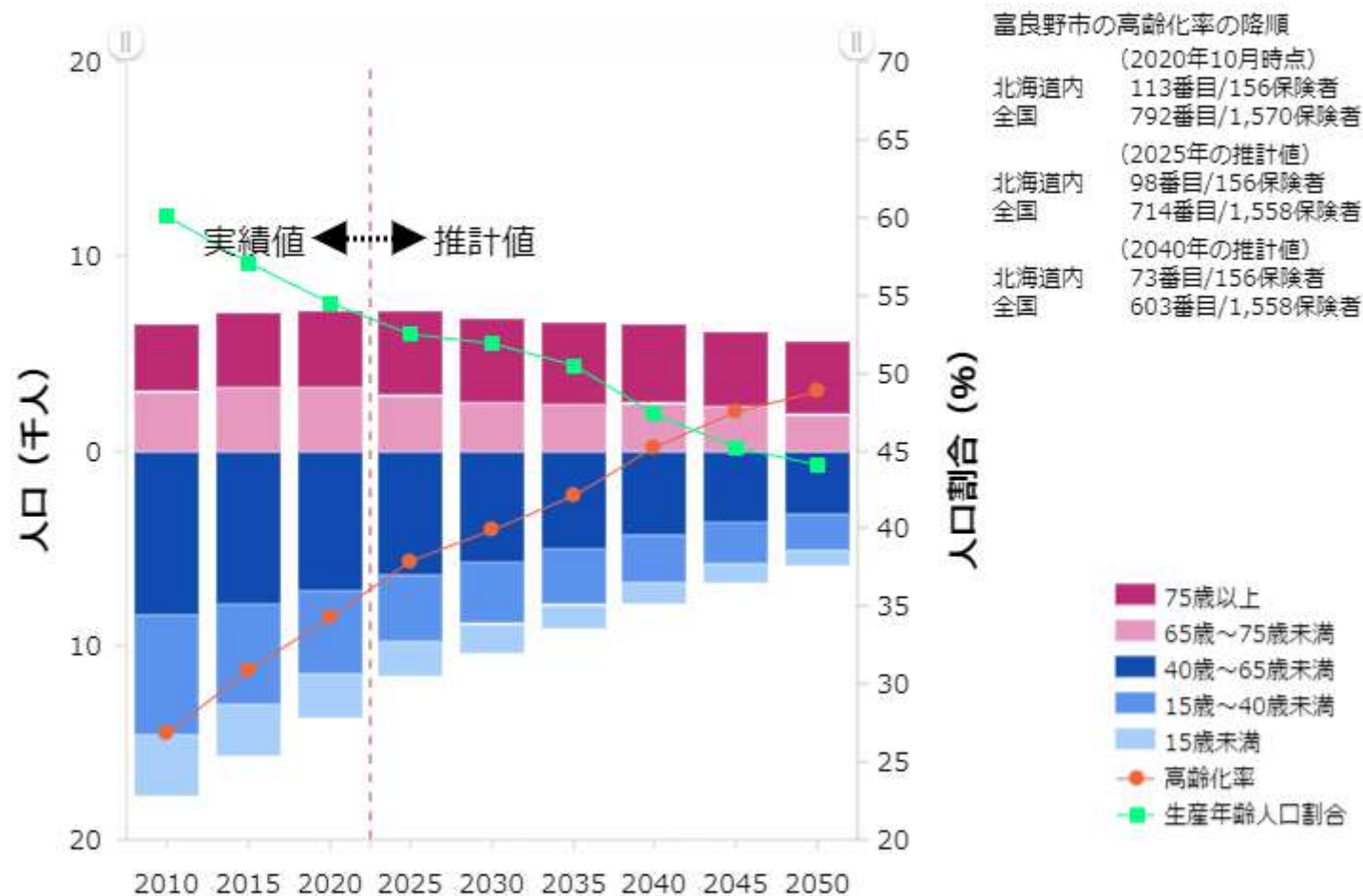
集計方法の違い等により、市の公表している数値と一致しない場合があります。

グラフの個別の数値と計が一致しない場合があります。

地域包括ケア「見える化」システムデータで集計されていない項目は、できる限り最新のデータを使用しています。

1. 人口の推移

富良野市の人口の推移



(出典) 2000年～2020年まで：総務省「国勢調査」
2025年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
人口 (人)	24,259	22,936	21,131	18,707	17,214	15,722	14,290	12,901	11,574
15歳未満 (人)	3,155	2,684	2,211	1,789	1,425	1,164	1,055	946	822
15歳～40歳未満 (人)	6,171	5,193	4,321	3,456	3,170	2,855	2,446	2,151	1,859
40歳～65歳未満 (人)	8,420	7,899	7,191	6,367	5,759	5,081	4,331	3,677	3,245
65歳～75歳未満 (人)	3,076	3,312	3,322	2,837	2,525	2,439	2,488	2,338	1,907
75歳以上 (人)	3,436	3,784	3,933	4,258	4,335	4,183	3,970	3,789	3,741
生産年齢人口 (人)	14,591	13,092	11,512	9,823	8,929	7,936	6,777	5,828	5,104
高齢者人口 (人)	6,512	7,096	7,255	7,095	6,860	6,622	6,458	6,127	5,648
生産年齢人口割合 (%)	60.1	57.1	54.5	52.5	51.9	50.5	47.4	45.2	44.1
高齢化率 (%)	26.8	30.9	34.3	37.9	39.9	42.1	45.2	47.5	48.8
高齢化率 (北海道) (%)	24.7	29.0	31.8	33.7	35.3	37.0	39.7	41.5	42.6
高齢化率 (全国) (%)	22.8	26.3	28.0	29.6	30.8	32.3	34.8	36.3	37.1

(出典) 2000年～2020年まで：総務省「国勢調査」

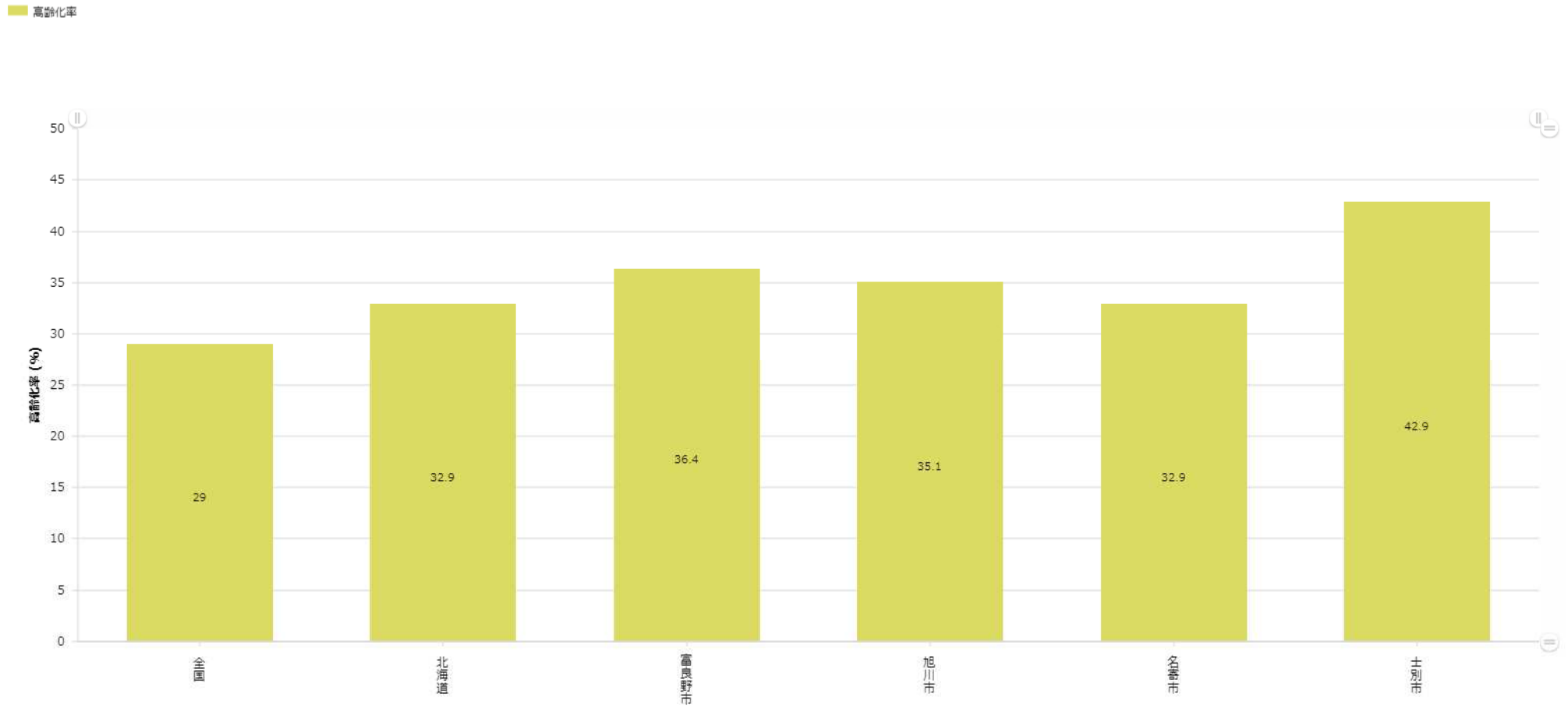
2025年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

令和5年12月に国立社会保障・人口問題研究所が公表した「日本の地域別将来推計人口」によると、2025年の富良野市の人口は18,707人、高齢者人口は7,095人（高齢化率37.9%）となっており、2040年には富良野市の人口は14,290人、高齢者人口は6,458人（高齢化率45.2%）となっています。

高齢者人口は2020年にピークを迎えたあと減少し、高齢化率は全国・全道より高い割合で推移し、2040年には45%に達すると推計されています。

2. 高齢化率

高齢化率



(時点) 令和5年(2023年)

(出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

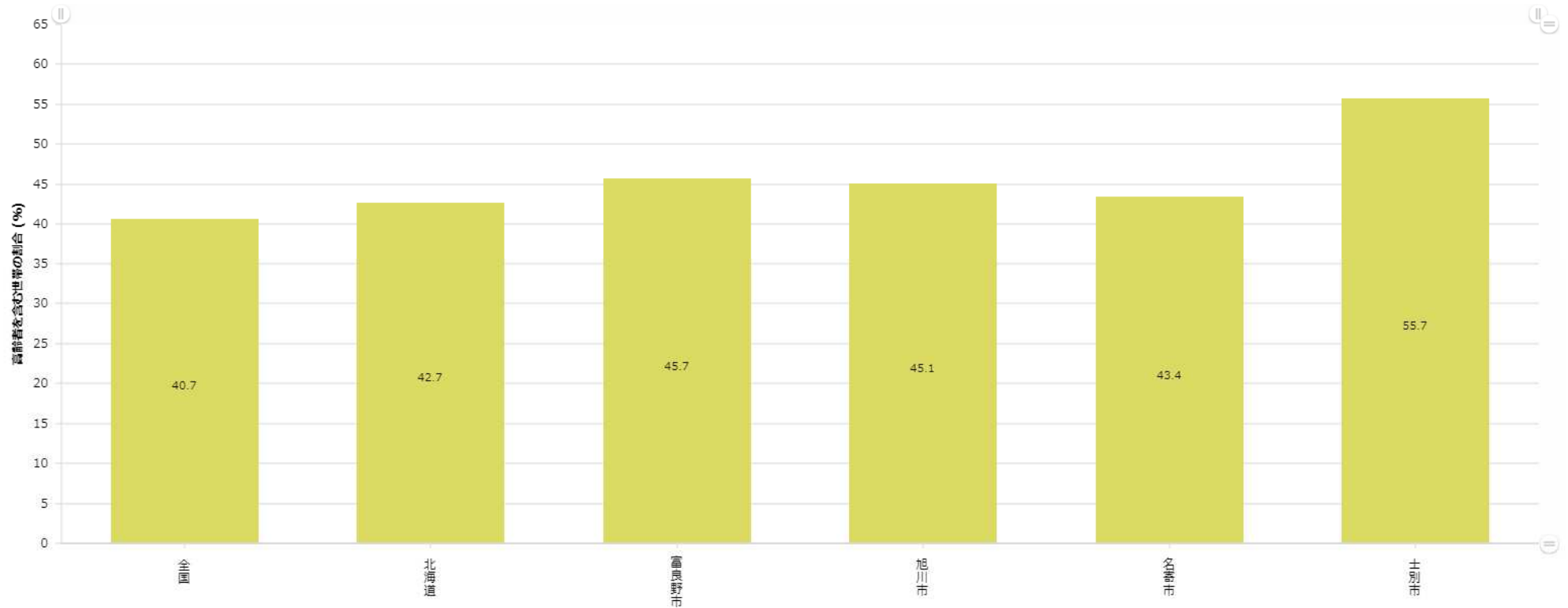
令和5年における富良野市の高齢化率は 36.4%となっており、全国平均(29%)、全道平均(32.9%)を上回っています。

上川管内の他市と比較して、旭川市(35.1%)、名寄市(32.9%)より高い数値となっています。

3. 高齢者を含む世帯の割合

高齢者を含む世帯の割合

■ 高齢者を含む世帯の割合

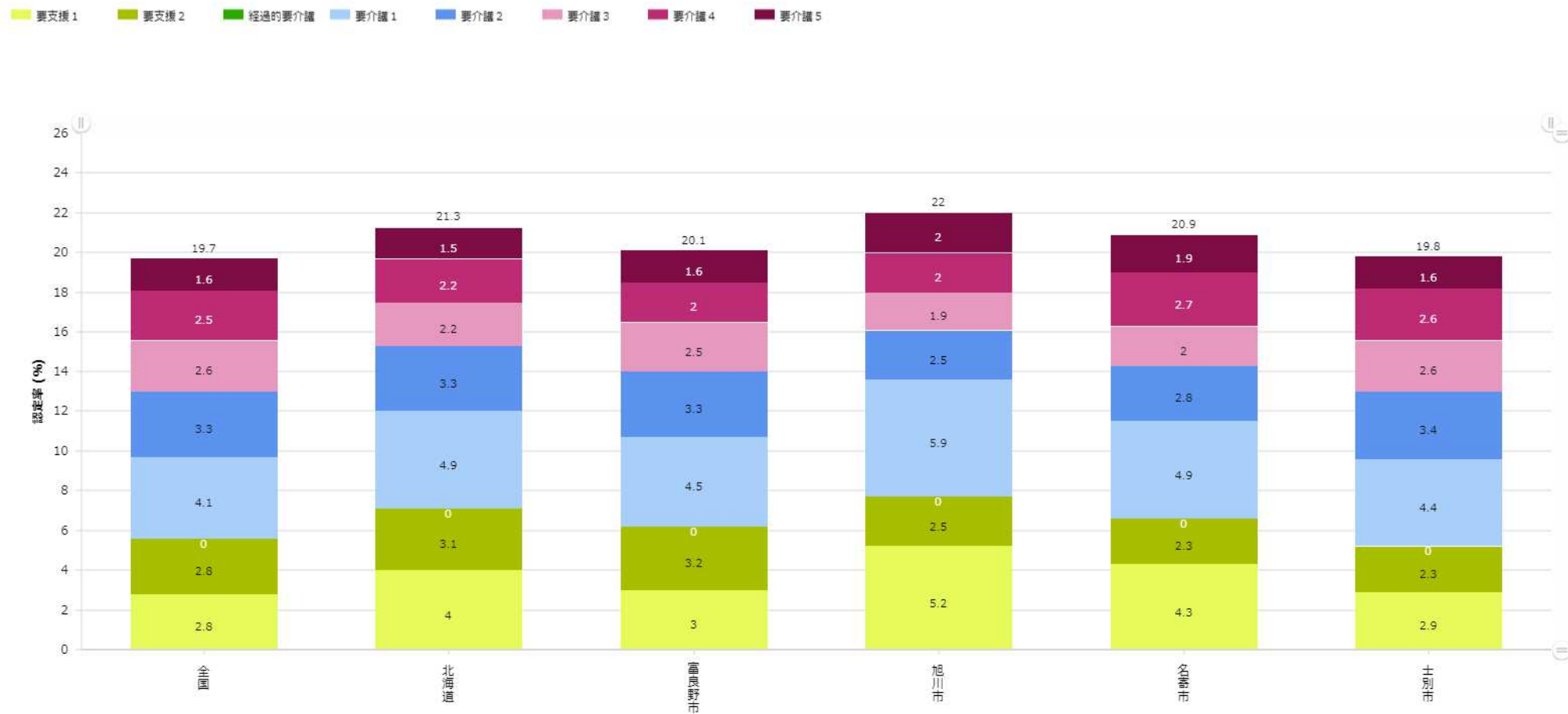


(時点) 令和2年(2020年)
(出典) 総務省「国勢調査」

令和2年度における富良野市の高齢者を含む世帯の割合は45.7%で、全国平均(40.7%)、全道平均(42.7%)を上回っています。上川管内の他市と比較して、旭川市・名寄市とほぼ同じ割合となっています。

4. 要介護認定率

認定率（要介護度別）※第2号被保険者を含む



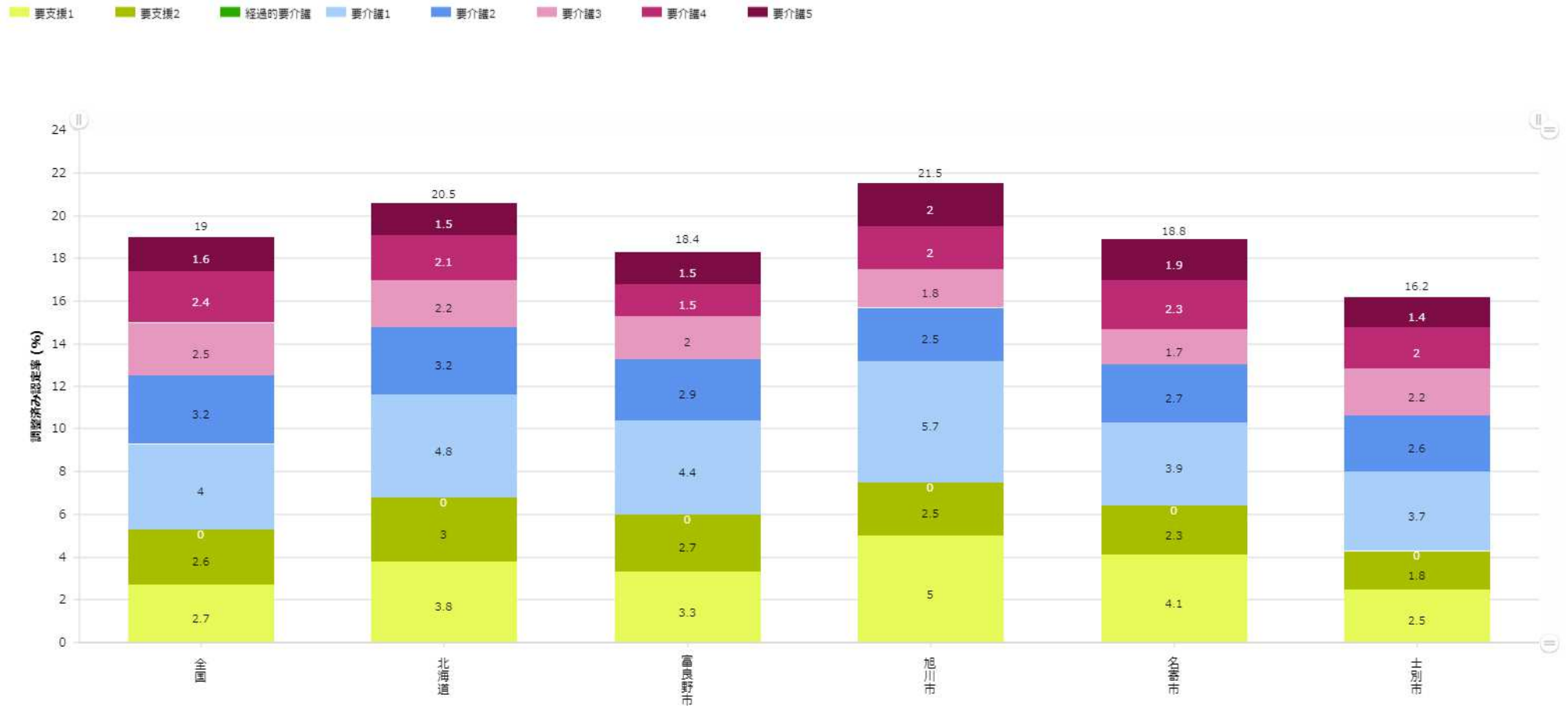
(時点) 令和5年(2023年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和4,5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

令和5年度の富良野市の認定率(第2号被保険者を含む)は20.1%で、全国平均(19.7%)、全道平均(21.3%)とほぼ変わりありません。上川管内の他市と比較して、名寄市・士別市と大きく変わりません。

5. 調整済認定率

調整済み認定率（要介護度別）



（時点）令和4年(2022年)

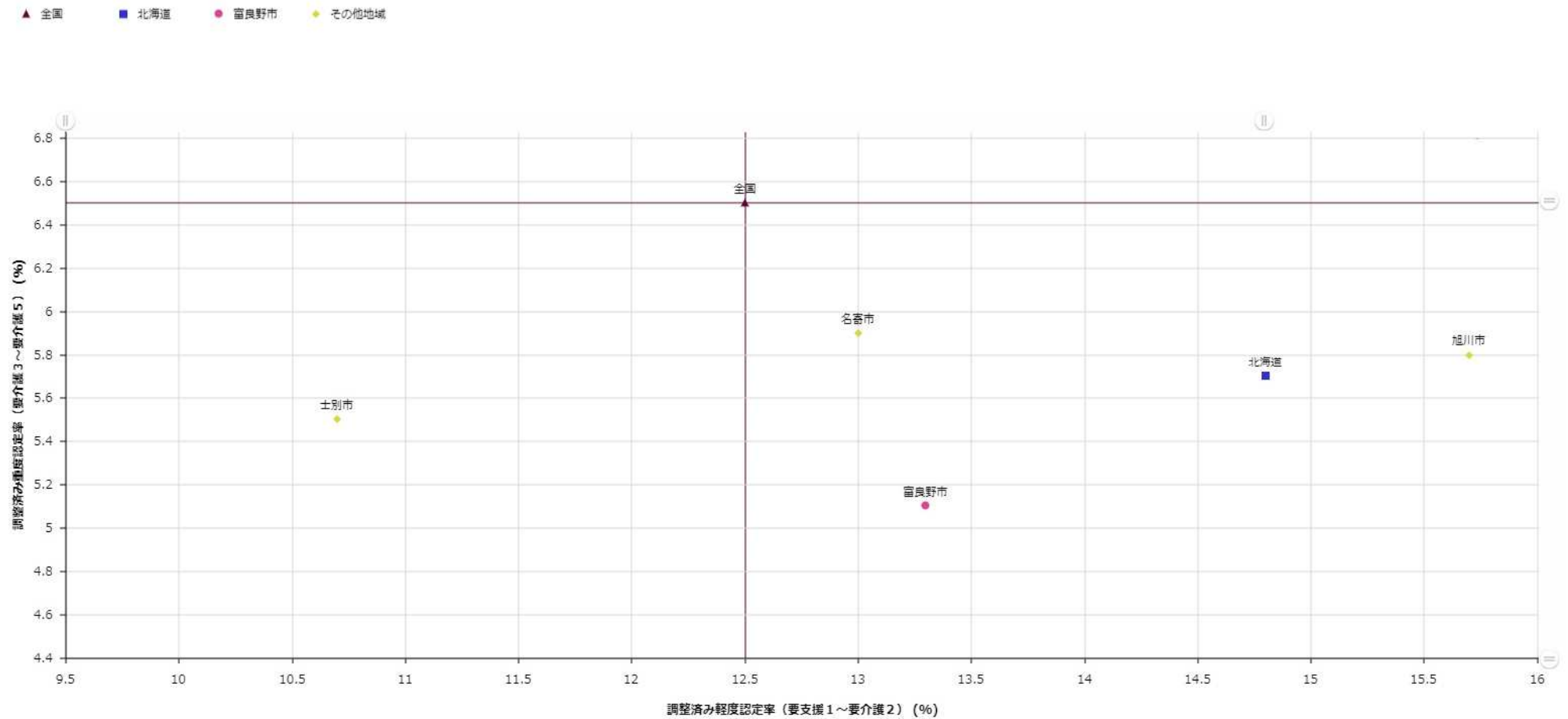
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

調整済認定率とは、認定率の多寡に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率のことです。

令和4年度の富良野市の調整済認定率は18.4%となっており、全国(19%)、全道(20.5)%より低い数値となっています。

6. 調整済認定率(重度・軽度分布)

調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布



(時点) 令和4年(2022年)

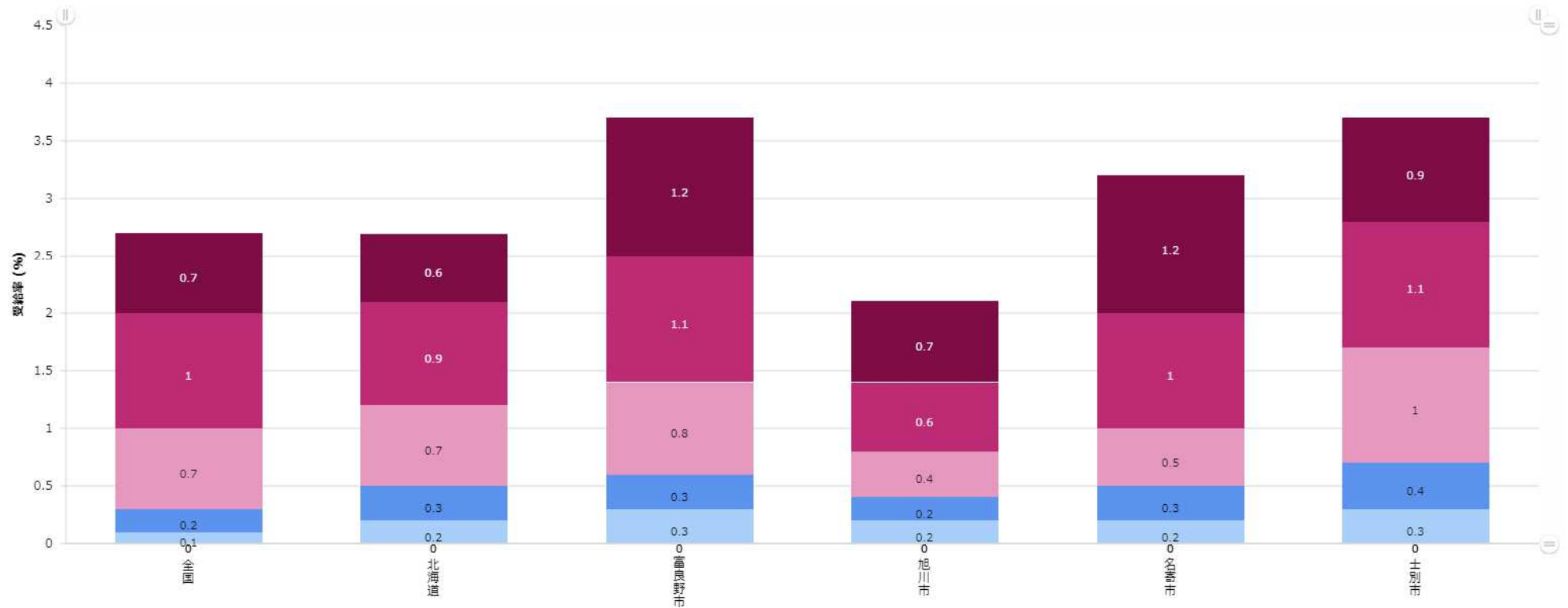
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

令和4年度の富良野市の調整済重度認定率および調整済軽度認定率は、重度認定率 5.1%で全国(6.5%)、全道(5.7%)、上川管内3市を下回り、軽度認定率は 13.3%で全道(14.8%)を下回るものの、全国(12.5%)を上回っています。

7-1.受給率(施設サービス)

受給率(施設サービス) (要介護度別)

要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5



(時点) 令和5年(2023年)

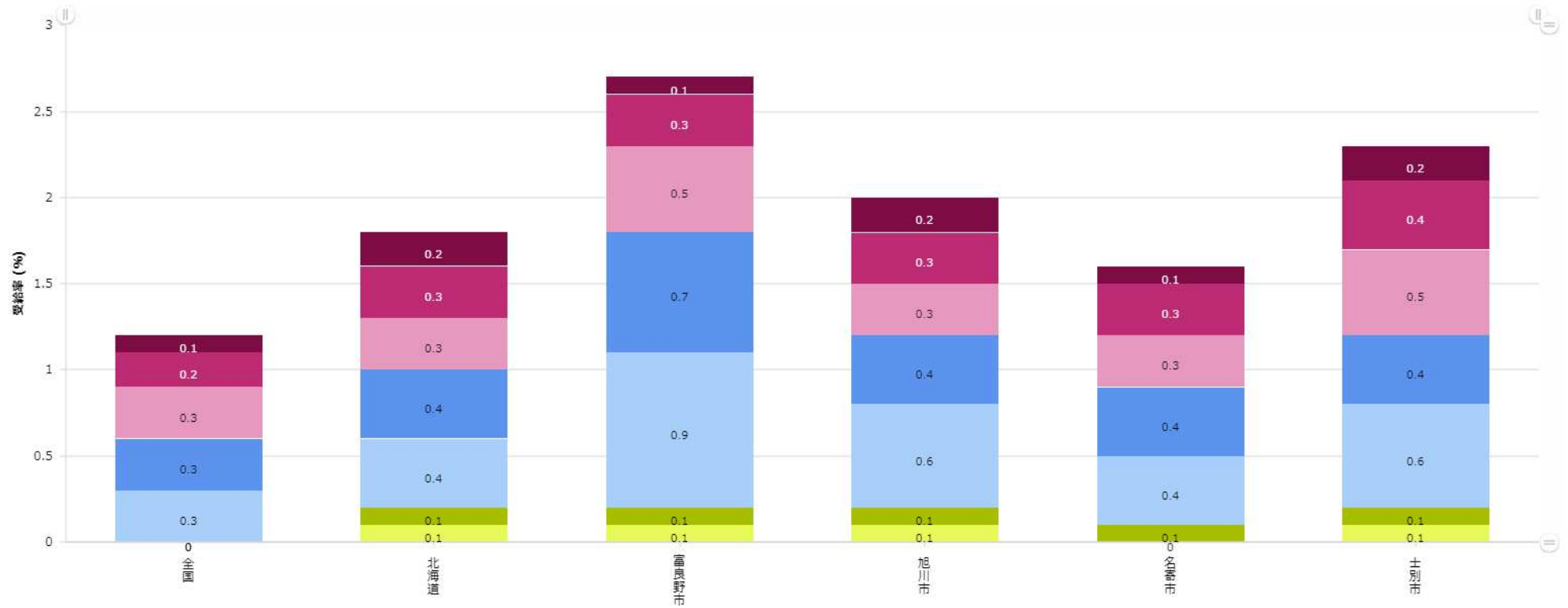
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

令和5年度の富良野市の施設サービスは、全国(2.7%)、全道(2.7%)を上回り、上川管内4市でも士別市と並んで受給率 3.7%と高い数値となっています。

7-2.受給率(居住系サービス)

受給率(居住系サービス) (要介護度別)

要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5



(時点) 令和5年(2023年)

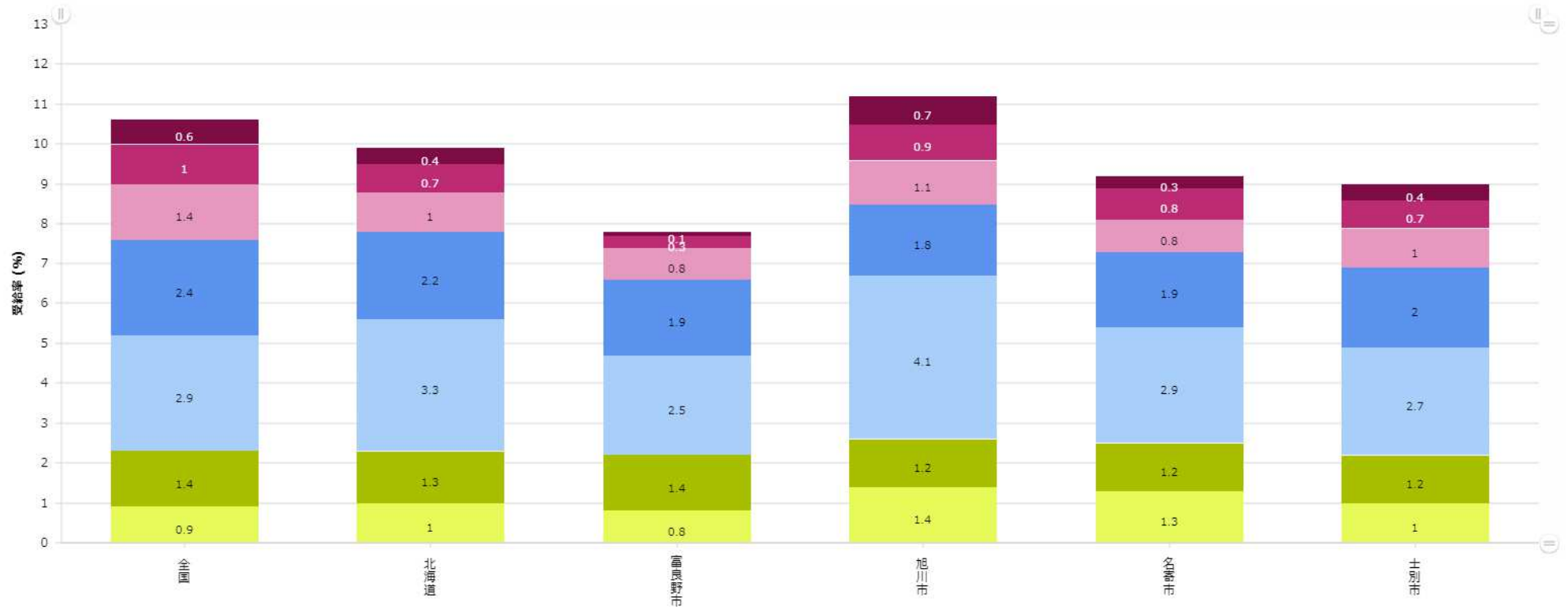
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和4,5年度の「介護保険事業状況報告」月報)

令和5年度の富良野市の居住系サービスは、全国(1.2%)、全道(1.8%)を大きく上回り、上川管内4市でも受給率 2.7%と最も高い数値となっています。

7-3.受給率(在宅サービス)

受給率(在宅サービス) (要介護度別)

要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5



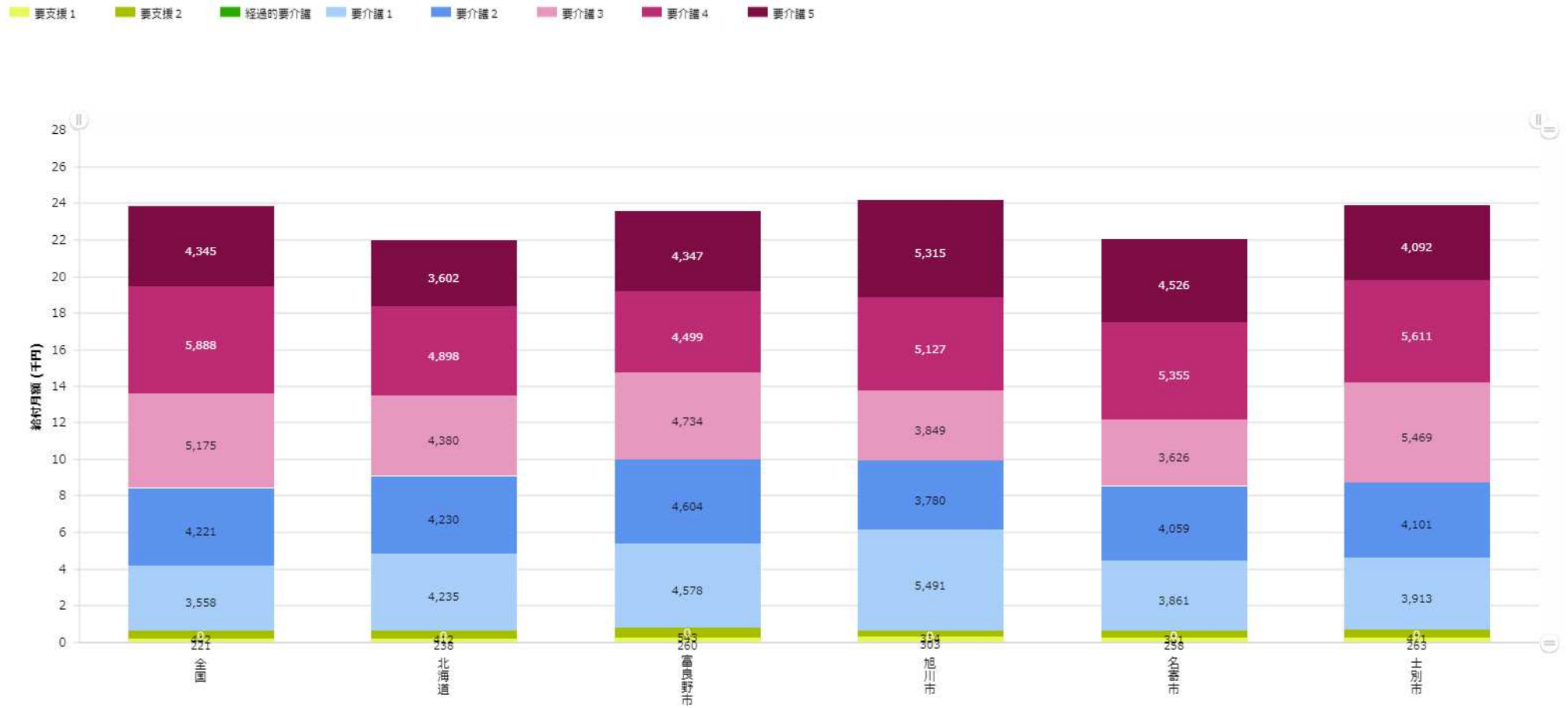
(時点) 令和5年(2023年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和4,5年度の分)「介護保険事業状況報告」月報

令和5年度の富良野市の在宅サービスは、全国(10.6%)、全道(9.9%)を下回り、上川管内4市でも受給率7.8%と最も低い数値となっています。

8.第1号被保険者1人あたり給付月額

第1号被保険者1人あたり給付月額（要介護度別）



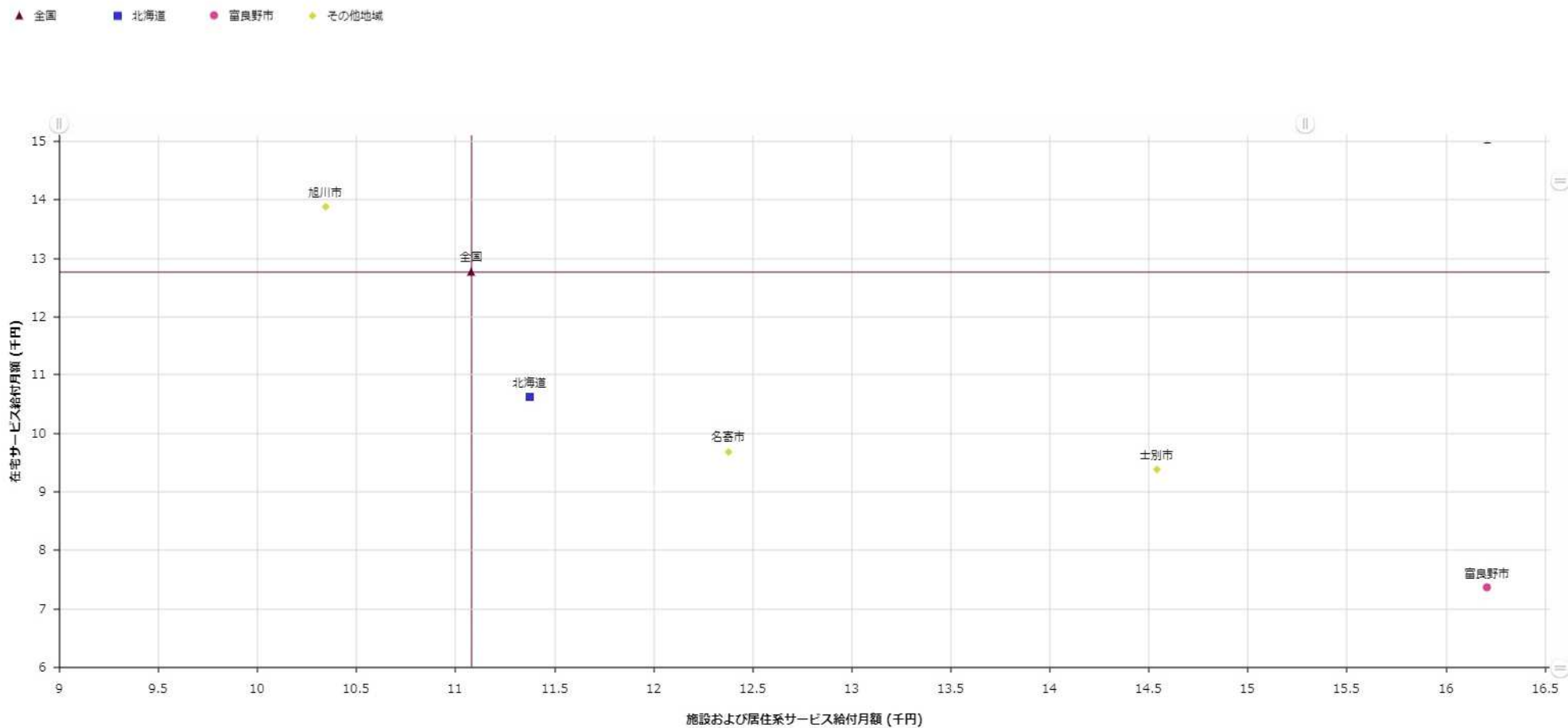
(時点) 令和5年(2023年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和4,5年度の分)「介護保険事業状況報告」月報

令和5年度の富良野市の第1号被保険者1人あたり給付月額は全国平均とほぼ変わらず、全道平均を上回っています。上川管内の他市と比較して、旭川市・士別市と大きく変わりありません。

9. 第1号被保険者1人あたり給付月額(在宅サービス・施設および居住系サービス)

第1号被保険者1人あたり給付月額(在宅サービス・施設および居住系サービス)



(時点) 令和5年(2023年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和4,5年度の分)「介護保険事業状況報告」月報

令和5年度の富良野市の第1号被保険者1人あたり給付月額は、在宅サービスでは全国、全道平均より下回り、上川管内4市でも一番低い給付額ですが、施設および居住系サービスでは大きく上回っています。

(考察)富良野市の現状分析

- 高齢化率は全国平均および全道平均と比して高く、要介護認定率は全国平均を上回るものの全道平均より低くなっています。
- 上川管内4市の比較では、高齢化率、要介護認定率ともに極端に高くも低くもない状況です。
- 調整済認定率(「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外したもの)においては、全国平均、全道平均を下回る結果となっており、性別・年齢構成が要介護認定率に大きく影響していることがわかります。
- 富良野市の調整済認定率の重度認定率および軽度認定率については、重度認定率は全国平均、全道平均、上川管内3市と比較して低く、軽度認定率は全道平均を大きく下回るものの全国平均を上回っています。
- サービス受給率では、施設サービス、居住系サービスともに全国平均・全道平均を上回り、上川管内4市でも一番高い数値となっています。反面、在宅サービスは全国平均・全道平均を下回り、上川管内4市でも一番低くなっています。
- 第1号被保険者1人あたり給付月額は大抵平均を上回るものの、全国平均を下回り、上川管内4市でも突出した数値ではありません。
- サービス受給率で見られるとおり、第1号被保険者1人あたり給付月額でも施設サービス、居住系サービスは高く、在宅サービスは低い傾向が顕著です。